



ごあいさつ

仰木の里学区創立10周年
記念事業実行委員会委員長
仰木の里学区自治連合会長
松村 勝

仰木の里学区は、大津市の北西部に位置し、昭和54年に旧住宅都市整備公団が大津湖南都市計画事業仰木土地地区画整理事業として着工、同年61年には街開きが開始され、当時は仰木学区に編入されておりましたが、平成9年3月に仰木の里市民センターが完成し、同年4月には市内31番目の学区として発足、その後、隣接する堅田学区から通学区域の見直しなどにより3つの自治会が編入、また同18年4月には里南自治会（雄琴三丁目の一部）が新たに加わり、学区創立10周年を迎える今、市内でも大きな学区として発展してまいりました。

これひとえに、当時お世話になりました仰木学区の皆様や関係各位に対しまして、深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。

10年を振り返りますと、自治連合会、社会福祉協議会、体育協会などの各種団体の立ち上げや市民運動会、敬老会などのイベントにしても、どれをとっても新しい挑戦でありました。誰もが「住んでよかった仰木の里」を合言葉に学区民一人ひとりが取り組み、安心・安全である快適なまちへと環境浄化に努めてきたところであります。

これからも「いつまでも住み続けたい仰木の里」を目指し、学区民が一丸となって犯罪、災害に強い人に優しい心通う潤いのあるまちづくりを推し進めてまいりたいと存じますので、皆様方のなご一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、記念誌の発刊にあたりましてお世話いただきました関係各位にお礼を申し上げるとともに、10周年を契機に仰木の里学区のますますの発展と皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。



仰木の里学区創立10周年 記念誌発刊に寄せて

大津市長 目片 信

仰木の里学区が仰木から分離独立して10周年を迎えられ、ここにめでたく記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

平素は市政各般にわたり、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市内31番目の学区として発足しました当地域は、ご承知のとおり昭和54年に旧住宅都市整備公団が「レークピア大津・仰木の里」の開発を機に、全国にもまれな一つの団地に、保育園から大学までの教育機関がある自然と調和した学園都市としての街づくりが進められ、JR湖西線や湖西道路などの交通利便がよいことから京阪神方面からの転居者が多く、新旧住民が混在する活気に満ちあふれたいきいきとした学区であります。

発足時当初の人口は約7,000人でありましたが、今や11,000人を超え、今後も更なる住宅開発が進み、市内でも有数の人口急増地域でますます発展することをご期待申し上げます。

そして、地域住民の皆様方が「住んでよかった仰木の里」のふるさとづくりを目指し、一人ひとりが汗を流し、手を携えてさまざまな事業を推進してこられたことについて、関係各位に敬意を表するとともに、引き続き飛躍と進化を遂げていただきたいと存じます。

本市におきましては、変革の時代の新たなまちづくりの行動方針として、行財政改革の推進により都市経営力をパワーアップしつつ、自然の力、まちの力、ひとの力を活かし高めていくことが、まちに元気を・ひとに笑顔を未来をひらく大津のまちづくりであると確信しておりますので、皆様方のなお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりましたが、10周年という節目を契機に、人に優しいまち仰木の里学区のますますのご発展と皆様方のご活躍を祈念し、お祝いのことばといたします。



学区創立10周年記念誌発刊に寄せて

大津市議会議員 中江 忠洋

仰木の里学区創立10周年を市議会を代表致しまして、心からお祝い申し上げます。

さて、近年、大津市におけます人口の伸びは誠に著しいものがあり、また、先般の旧志賀町との合併によりまして、今や人口32万人を擁する湖国滋賀の県都として大きく発展を遂げ、更に飛躍しようとしております。

その中でもここ仰木の里は、昭和54年に市内最大級のニュータウンとして宅地開発が進められ、保育園・幼稚園並びに小・中・高校、更には大学が開園・開校するなど、市内は元より、県下でも随一と言えるほどの一大文教ゾーンへと目覚しく発展を遂げて参りました。

また、JR湖西線の他、湖西道路など、交通利便性が飛躍的に向上したことに伴い、京阪神からの転居者を中心として、当学区の人口は急激に増加し、学区発足当時には7千人余りであった人口も、今や1万1千人を数えるまでに成長いたしました。

これらの輝かしい発展は、自治連合会長さんを先頭に、住民の皆さんお一人おひとりが、新しいまちづくりを目指して並々ならぬ熱意と努力を注いで来られた賜物であり、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

そして、学区創立10周年という節目に、過去の歴史を振り返りながら、新たな飛躍・発展を目指されますことは、温故知新という言葉どおり、大変意義深いことでございます。

どうか、これを契機とされまして、学区民の皆さんが一致団結して、一層住み良い郷土づくりのために取り組んで頂き、ひいては、大津市の更なる発展に寄与して頂きますよう心から御期待申し上げます。

終わりになりましたが、仰木の里学区の今後ますますの御発展と、住民の皆様方の御多幸を衷心より祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。